

長後地区乗合タクシーの実証運行の状況について

目 次

1	検討地区	・・・ 1
2	これまでの経緯と取り組み	・・・ 1
3	令和3年10月1日～令和4年5月31日の運行ルート	・・・ 2
4	令和4年6月1日からの運行ルート	・・・ 2
5	実証運行の利用状況	・・・ 3
6	本格運行移行への判断	・・・ 4

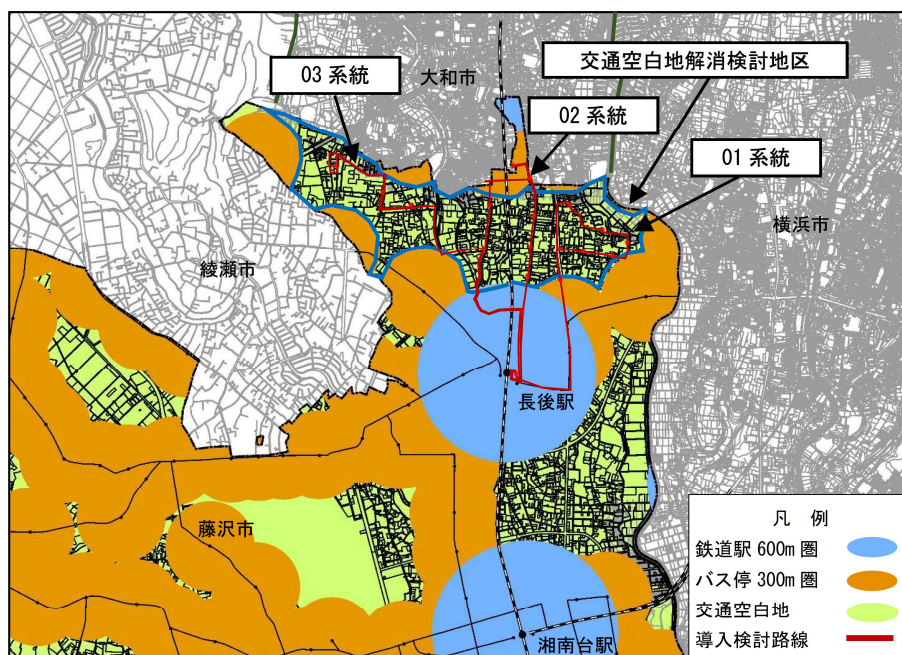
第25回 藤沢市地域公共交通会議

2023年3月22日（水）

藤 沢 市

1. 検討地区

藤沢市長後地区では、交通空白地解消のため、長後駅東口を起点とした乗合タクシーの実証運行を実施しました。



2. これまでの経緯と取り組み

これまでの経緯と取組を以下に示す。

表1 これまでの取り組み

平成 29 年度	<ul style="list-style-type: none"> 郷土づくり推進会議に交通手段支援部会を設置し、具体的な検討を開始 第 1 回アンケート実施（10月） （長後地区 10, 388 世帯の移動実態や公共交通網の満足度を把握）
平成 30 年度	<ul style="list-style-type: none"> 第 2 回アンケート実施（10月） （第 1 回調査で不便と回答の 5, 685 世帯の移動実態や需要を把握）
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 長後地区郷土づくり推進会議から提言書が提出される（8月） 交通事業者と協議の結果、地域が主体となって運行を行う地域公共交通の検討を開始。（3月）
令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> 第 3 回アンケート実施（3月：3, 921 世帯）
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> 第 2 3 回藤沢市地域公共交通会議（7月：実証運行に向けた協議が調う） 乗合タクシーの実証運行を開始（10月1日～） 利用者へのヒアリング（11月） 第 4 回アンケート実施（12月：3, 487 世帯） 長後地区乗合タクシー・運営主体組織の設立等準備委員会（以下、「準備委員会」）設立（12月） 第 2 4 回藤沢市地域公共交通会議（3月：実証運行計画変更）
令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 実証運行継続（4月1日～9月30日） 6月1日からルート変更（2ルートから3ルート） 実証運行再延長（10月1日～3月17日予定） 自治会説明会（5月、12月：ルート沿線 13 自治会） 利用者へのアンケート実施（12月） 自治会対象アンケート実施（1月：ルート沿線 13 自治会）

3. 令和3年10月1日～令和4年5月31の運行ルート



4. 令和4年6月1日からの運行ルート



5. 実証運行の利用状況

1日当たりの平均利用者数は令和4年6月に3ルートに変更してから増加したものの、ほぼ横ばいとなっている。

目標としている利用者数は60人/日であるが、目標には届いていない。

日平均利用者数	令和3年			令和4年				
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
01系統	7.90	9.5	10.7	8.9	10.4	9.3	9.80	8.8
02系統	4.2	4.6	6.00	4.5	4.4	4.4	5.4	6.3
合計	12.1	14.1	16.7	13.4	14.8	13.7	15.2	15.1

表2 運行ルート変更前の1日平均利用者数の推移

日平均利用者数	2022年						2023年			
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
01系統	8.7	9.7	8.6	8.2	8.9	9.5	10.1	9.8	10.6	11.7
02系統	4.9	7.2	7.3	6.4	4.9	4.8	4.0	5.1	4.1	3.4
03系統	5.8	6.4	6.0	7.3	6.2	7.2	7.1	8.7	6.8	5.6
合計	19.4	23.3	21.9	21.9	20.0	21.5	21.2	23.6	21.5	20.7

表3 運行ルート変更後の1日平均利用者数の推移

1便当たりの平均利用者数は、全系統午前中の利用が多くなっている。

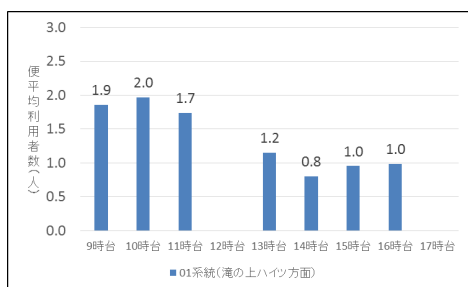


図1 01系統

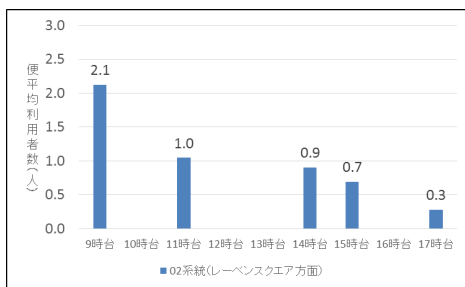


図2 02系統

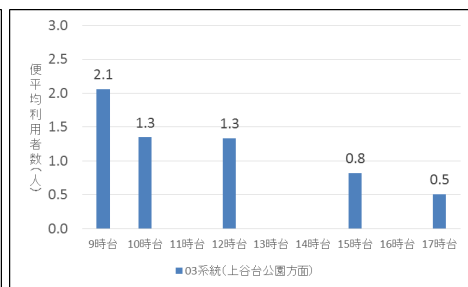


図3 03系統

停留所当たり利用者数は駅発着の利用が最も多い。

令和4年12月に実施した利用者に対する車内アンケートによると、駅発着のうち鉄道への乗り換えは約10%に留まっており、駅周辺での通院や買い物がそれぞれ約40%と多く、駅周辺が目的地となっている利用者が多くなっている。

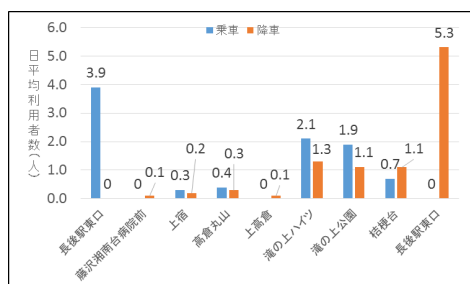


図4 01系統

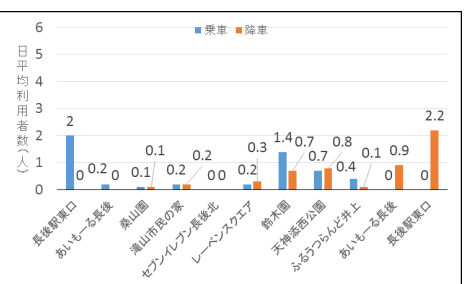


図5 02系統

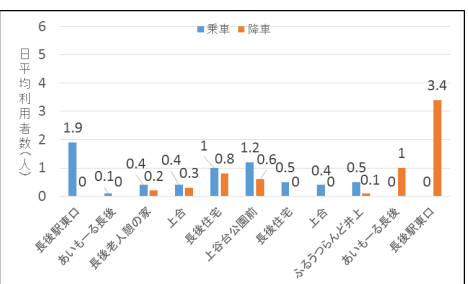


図6 03系統

6. 本格運行移行への判断

「長後地区乗合タクシー・運営主体組織の設立等準備委員会」は、現在の運行計画で本格運行へ移行した場合、地域組織の負担額が約 300 万円／年と大きく、事業の継続性を保つことが困難との考えに至り、本格運行への移行を見送ることとした。

今後については、事業の継続性が確保できる地域の移手段について検討していく。

収入	予算額(円)	摘要	支出	予算額(円)	摘要
1 運賃収入			1 運行委託費		
収受運賃	1,567,350	利用者数:21.5人/日 年間運行日数:243日(平日) 運賃:300円/人	運行委託費	5,746,950	運行単価:23650円/日 年間運行日数:243日(平日)
サポーター会員 会費	300,000	会員数:100人 年会費:3,000円/人			
2 支援金等		※広告収入含む	2 事務経費等		
地域団体支援	2,969,600	自治会、地域活動団体等	事務経費等	90,000	通信費、印刷費、消耗品費、手数料等
個人寄付金		広告収入(地元企業等)			
3 市補助金	1,000,000	(運行委託費-運賃収入)÷2	合計	5,836,950	
合計	5,836,950				

表4 1日平均利用者21.5人(令和5年2月)での年間想定収支

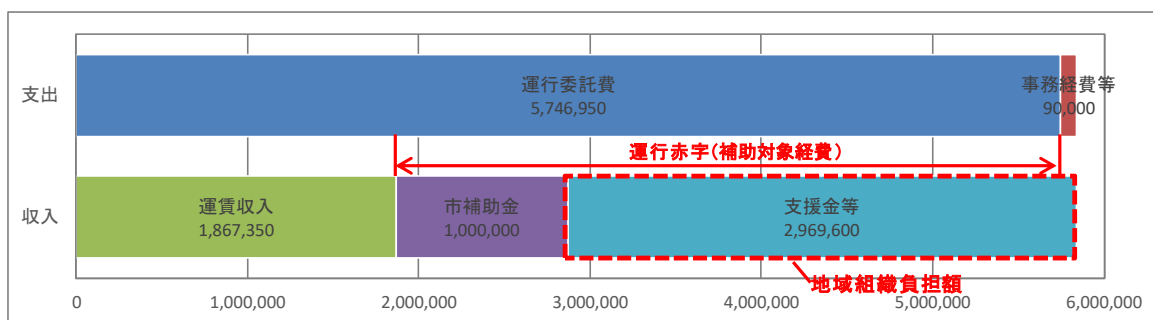


図7 1日平均利用者21.5人(令和5年2月)での年間想定収支